

第10回 ふくまる夢たまごセミナー

日時	2020年1月17日(金)18:00~20:00
場所	市庁舎7階大会議室
内容	講話「授業づくり対決！」 講師：前川 亮太 指導主事（市教育委員会教育政策課） ：中野 正敏 指導主事（市教育委員会教育センター）

第10回ふくまる夢たまごセミナーは、「授業づくり対決！」というテーマのもと、塾生17名が参加して開催されました。

講師には、市教育委員会の指導主事である前川亮太先生、中野正敏先生にお願いし、教育現場での実践の一端を模擬授業という形で紹介いただきました。



前川先生が、まず塾生に尋ねました。

「地理の授業がいいですか、歴史の授業がいいですか。」



塾生の最初の驚きは、どちらの授業であっても、模擬授業ができるよう準備されていることでした。次の驚きは、まったく様子の違う2枚の肖像画が、どちらもペリー提督であったことです。そして、たたみかけるように前川先生の発問が続きます。

「なぜペリーは、東回り、わざわざ遠回りして日本に来航したのか。」「ペリーの一番の目的は何だったのか。」

塾生は、前川先生に「なぜ?」「どうして?」と聞かれるたびに、授業に引き込まれていきました。



中野先生も塾生に問いかけます。
「本当の幸せとは何ですか。」
道徳の授業の導入で、塾生に揺さぶりをかけます。
「自分の幸せ曲線をかいてください。」
「幸せメーターの頂点では何を得ましたか、底では何を失いましたか。」

塾生が自分自身の問いとして幸せについて考えた時間が流れました。

続けて、中野先生から、中学2年生という若さで、ガンで亡くなった猿渡瞳さんの「みなさん、本当の幸せって何だと思いますか」で始まる弁論大会での作文の提示があり、最後に「本当の幸せ」を題材にした授業が紹介されました。

< 塾生の感想から >



○ 前川先生が、児童が考えるときに出した声掛け、発表するときの声掛けなど、その一つ一つが自分たちを揺さぶるものであったと自分自身が感じた。悩むからこそ周りの友達との会話が活発になり、その結果として、思考の深まりがあると感じた。答えを教えるのではなく、子どもがクラスの子と交流することで答えを見つけていくようなプロセスを踏むことのできる授業力をつけてたいと、強く感じた。

○ 中野先生の授業は、大人でも悩む内容でしたが、人が、他者と異なる価値観を持っていることに改めて気づかされました。ビデオの中の子どもが、あんなに活発な議論をするには、授業の流れはもちろん、普段からの信頼できる、「言っても大丈夫かな？」と思える空気を作ることが大切なんだと思いました。



- 前川先生と中野先生の授業を見させていただいて、どちらの先生も、じっくり考えさせる仕掛けがあるのを感じました。その仕掛けとして、すぐに肯定しないで揺さぶる発問を入れると「本当にそうなのかな？」と改めて考えられる時間になるし、他の子どもたちの考えを聞いて「あれ？本当の幸せって？」と意見が変わるなど、見えていなかった氷河がまるで溶けていくようにいろんな考えが見えるのが、とても素敵な授業だと思いました。

- 今日お二人から学んだ授業づくりを自分なりに吸収して現場で活かしていきたいです。特に私が学んだ点は「子どもに考えさせる」「教えるのではなく一緒に考えて学ぶ」という点です。教師という立場はどうしても正しいことを教えなくてはならないと思ってしまいますが、格好をつけず、どんどん失敗して子どもと一緒に成長していける教師になりたいです。